

鳥取市の財政

私たちの財布の中身はどうなっているの？

作成：鳥取市議会議員 児島 良



竹内市長が言う……

- 市債の発行残高(借金)は減り、基金(貯金)は増えている。
- 財政健全化判断比率も大幅にクリアしている
- よって、「鳥取市の財政は健全である」

……というのは、**ホントか** ???

鳥取市の財政は将来にわたって

大丈夫なのか ???

1、鳥取市の財政は赤字か黒字か？

○家庭では

給料から(衣・食・住、ローン返済、子育て、保険、医療費など)を引いて足りたかどうか。あまれば貯金へ

○自治体では

収入: 市民税+国からの仕送り

と「**借金**」(原則は建物や道路をつくるために限定)

支出: 職員給料、事業費、補助金、基金積立

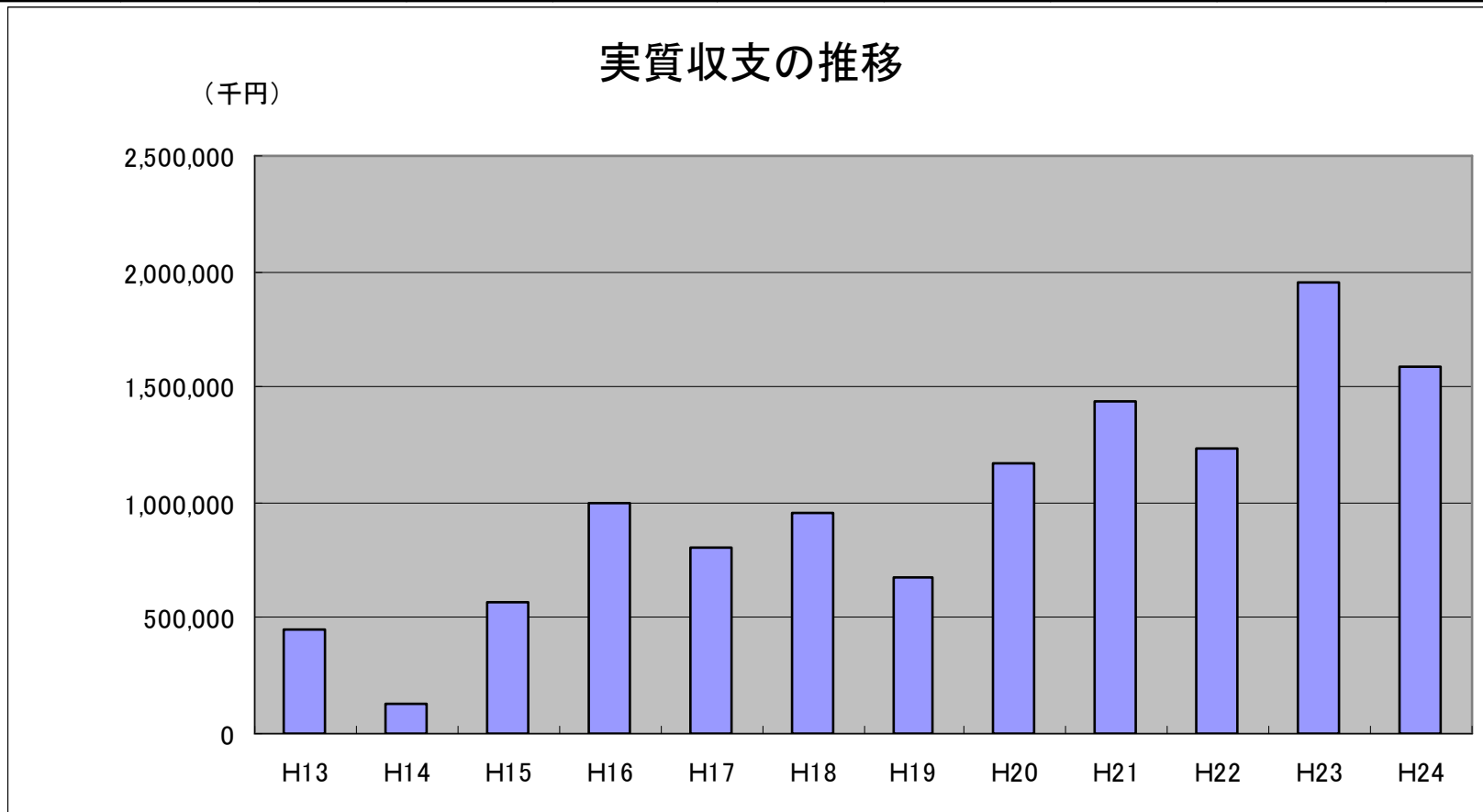
と「**借金返済**」

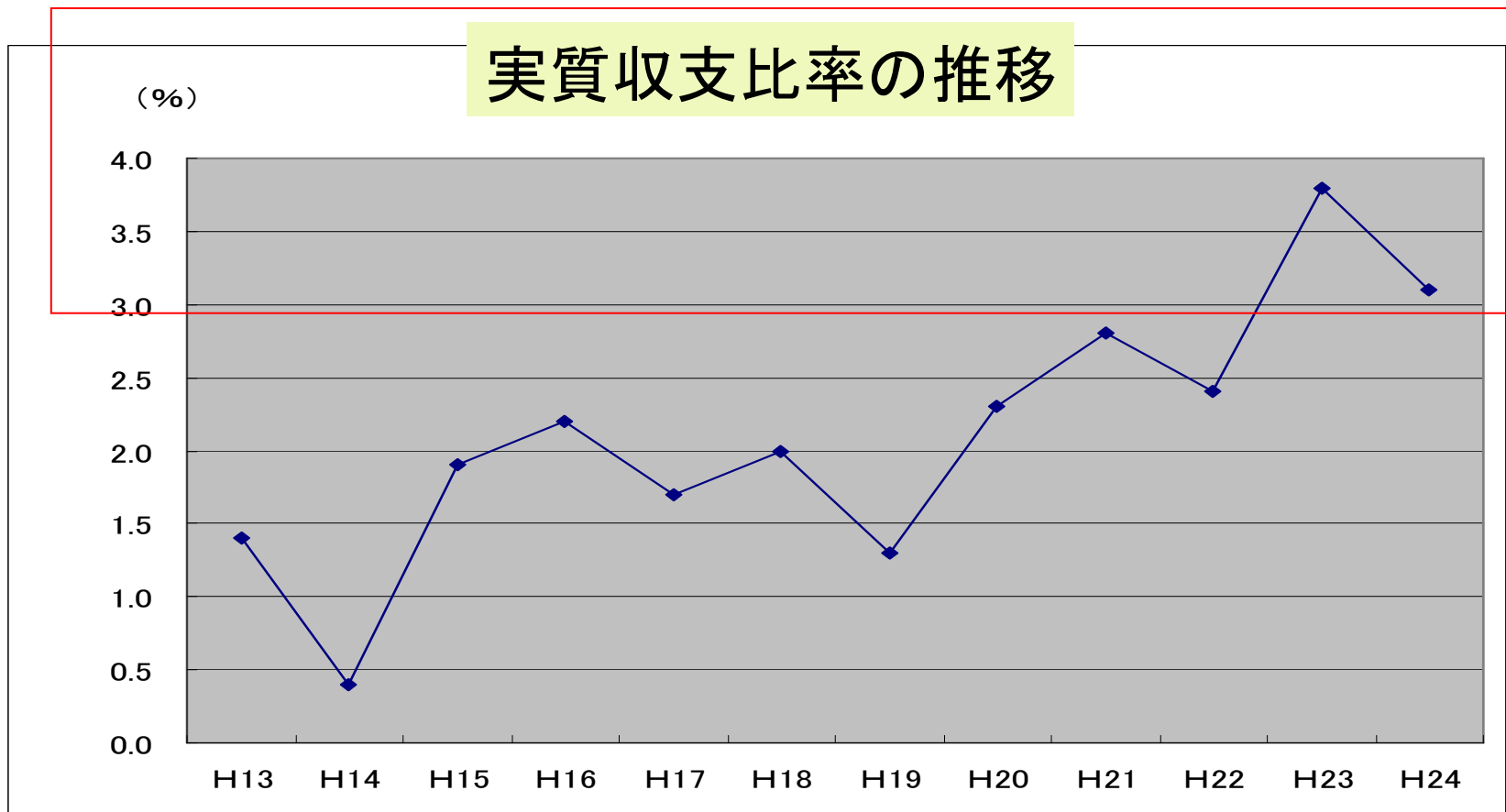
*** 収支(収入-支出) = 赤字か黒字か**

鳥取市の収支はどうなっているのか？

(千円・%)

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
実質収支	999,549	805,225	953,931	672,772	1,164,934	1,433,557	1,232,545	1,951,449	1,593,286
実質収支 比率	2.2	1.7	2.0	1.3	2.3	2.8	2.4	3.8	3.1





- 1、鳥取市の収支は黒字が続いているが、**当たり前のこと**
赤字の率が11.25%になれば危険、20%で倒産
- 2、ただし、**黒字の割合が低い**（3～5%が適当）

2、借金(債務)は怎么样了のか？

H23年度	残高(千円)	市民一人あたり (円)
一般会計	104,719,938	539,168
特別会計	87,631,441	451,185
水道局	17,003,130	87,543
市立病院	9,236,615	47,556
外郭団体	7,599,434	39,127
債務負担行為	7,895,477	40,651
合計	234,086,035	1,205,231

皆さんの借金は？

国 1000兆円 国民1人あたり 800万円

県 7000億円 県民1人あたり 120万円

市 2340億円 市民1人あたり 120万円

総額 1040万円

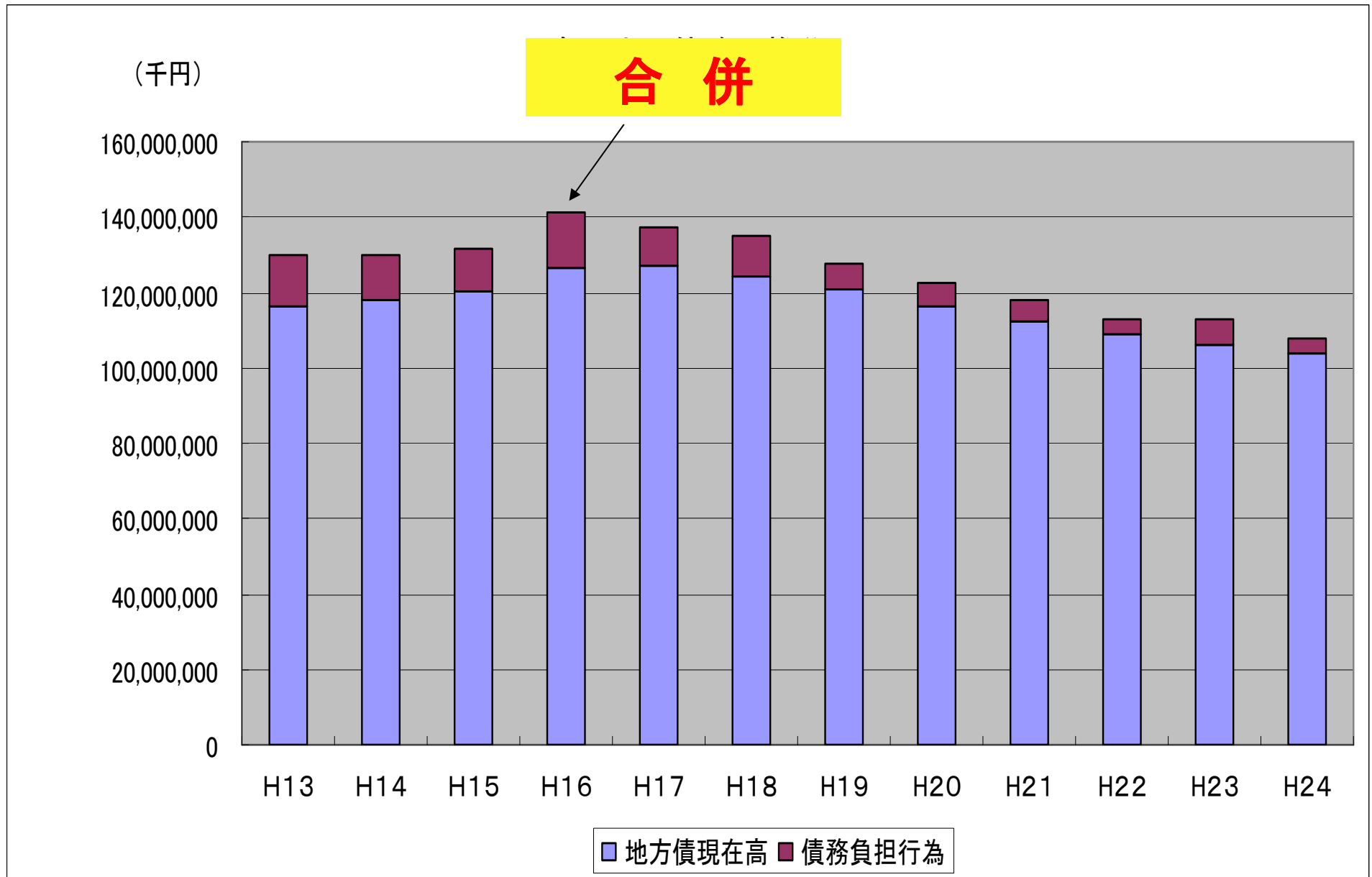
普通会計実質債務残高

* H13～H15は合併前の9市町村の合計

	H13	H14	H15	H16	H17	H18
地方債現在高	116,080,858	117,796,411	120,233,165	126,533,676	127,285,369	124,269,958
債務負担行為	13,692,232	12,311,342	11,314,805	14,525,715	9,848,054	10,707,696
実質債務合計	129,773,090	130,107,753	131,547,970	141,059,391	137,133,423	134,977,654

	H19	H20	H21	H22	H23	H24
地方債現在高	120,860,060	116,054,982	112,338,183	109,003,136	106,217,513	103,916,980
債務負担行為	6,970,636	6,608,787	5,763,837	4,073,223	6,714,125	3,938,701
実質債務合計	127,830,696	122,663,769	118,102,020	113,076,359	112,931,638	107,855,681

鳥取市の債務の推移



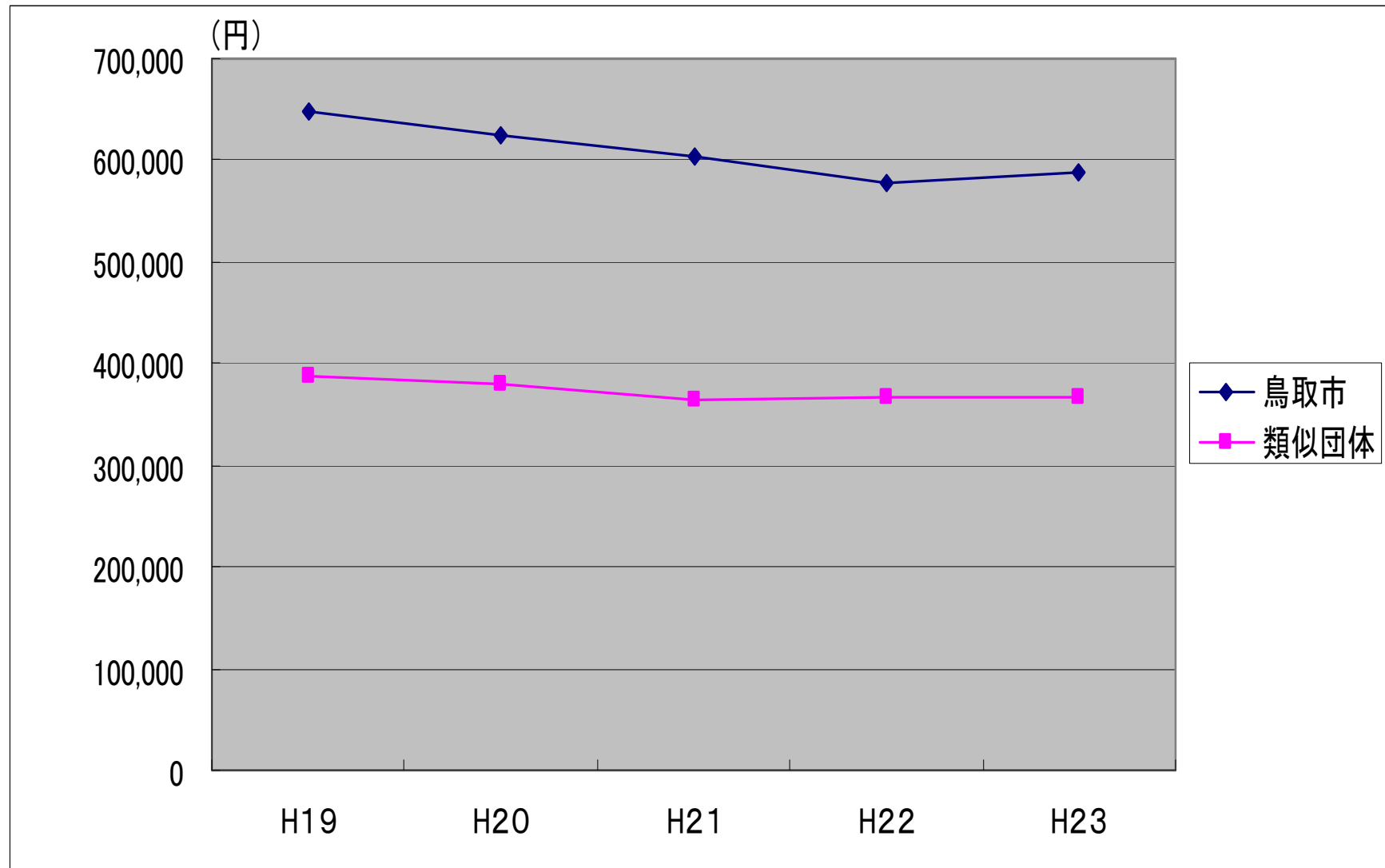
他都市との比較 (市民一人あたりの借金)

* 地方債(借金)残高+債務負担行為の合計 (円)

	H19	H20	H21	H22	H23
鳥取市	647,287	623,967	602,694	578,855	587,530
類似団体	387,741	379,226	365,400	366,332	365,762

* 類似団体は特例市(人口20万人~30万人)

市民一人あたりの債務を類似団体と比較する



3、鳥取市の基金(貯金)はどうか？

基金には

①**財政調整基金** ←これが大事

普通預金と同じで何にでも使える貯金

②**減債基金**

地方債の満期一括返済のものを積み立てておく貯金
比較的自由に使える

③**特定目的積立金**

条例で用途が特定されている積立金。流用は原則
できない。鳥取市には34の特定目的積立基金がある

基金の推移

合併

* H13~H15は合併前の9市町村の合計

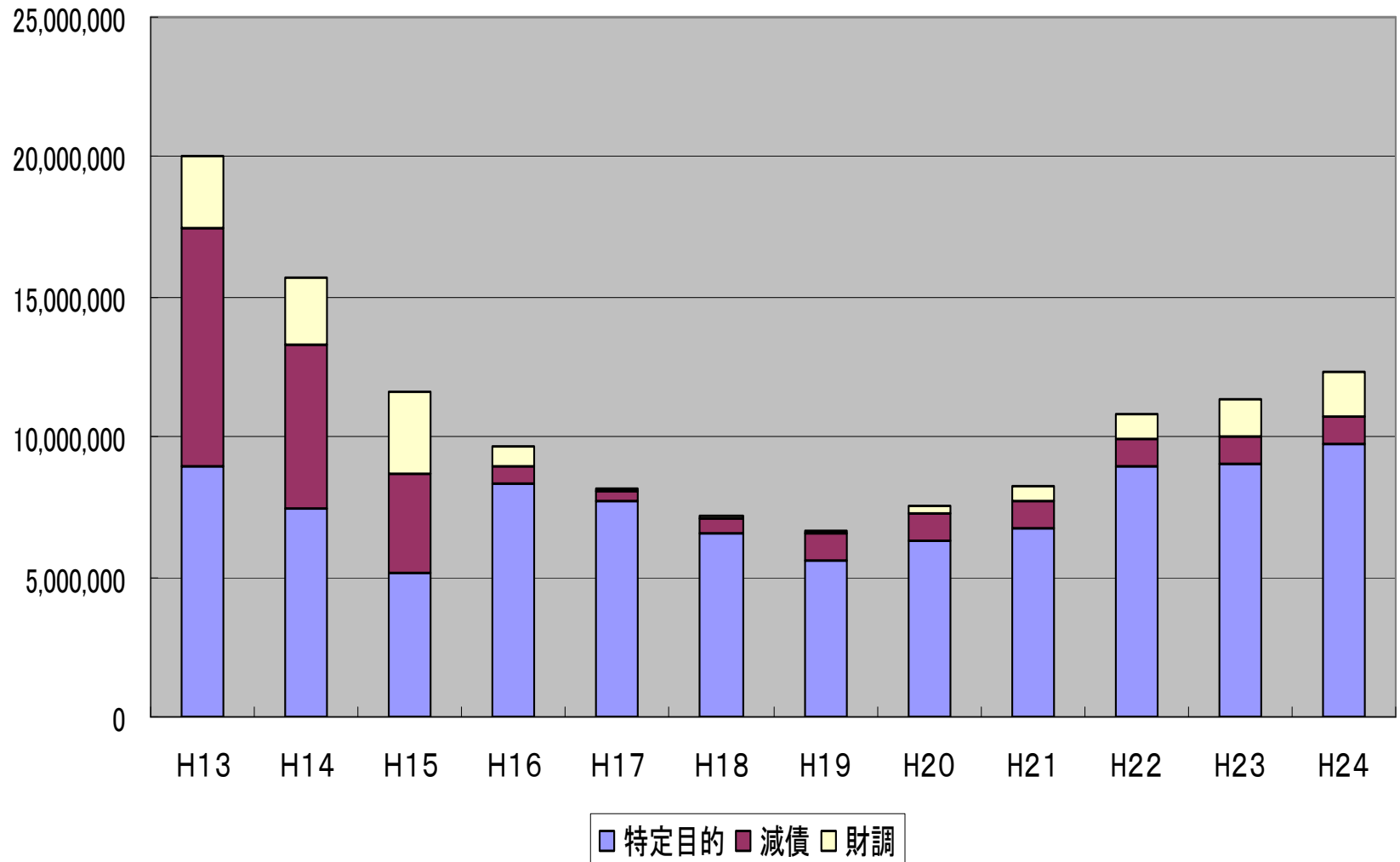
	H13	H14	H15	H16	H17	H18
財 調	2,570,647	2,336,823	2,862,741	687,098	87,634	87,790
減 債	8,525,840	5,896,226	3,586,017	661,696	362,943	579,826
特定目的	8,926,015	7,436,319	5,145,944	8,292,887	7,693,976	6,547,033
合計	20,022,502	15,669,368	11,594,702	9,641,681	8,144,553	7,214,649

H19	H20	H21	H22	H23	H24
88,315	282,447	595,711	928,838	1,376,331	1,576,926
965,142	970,547	974,903	976,361	976,945	977,380
5,625,623	6,258,452	6,709,814	8,932,953	9,014,339	9,747,065
6,679,080	7,511,446	8,280,428	10,838,152	11,367,615	12,301,371

* 特定目的の地域振興基金(40億円)は合併特例債で積立てたもの

鳥取市の積立金の推移

(千円)



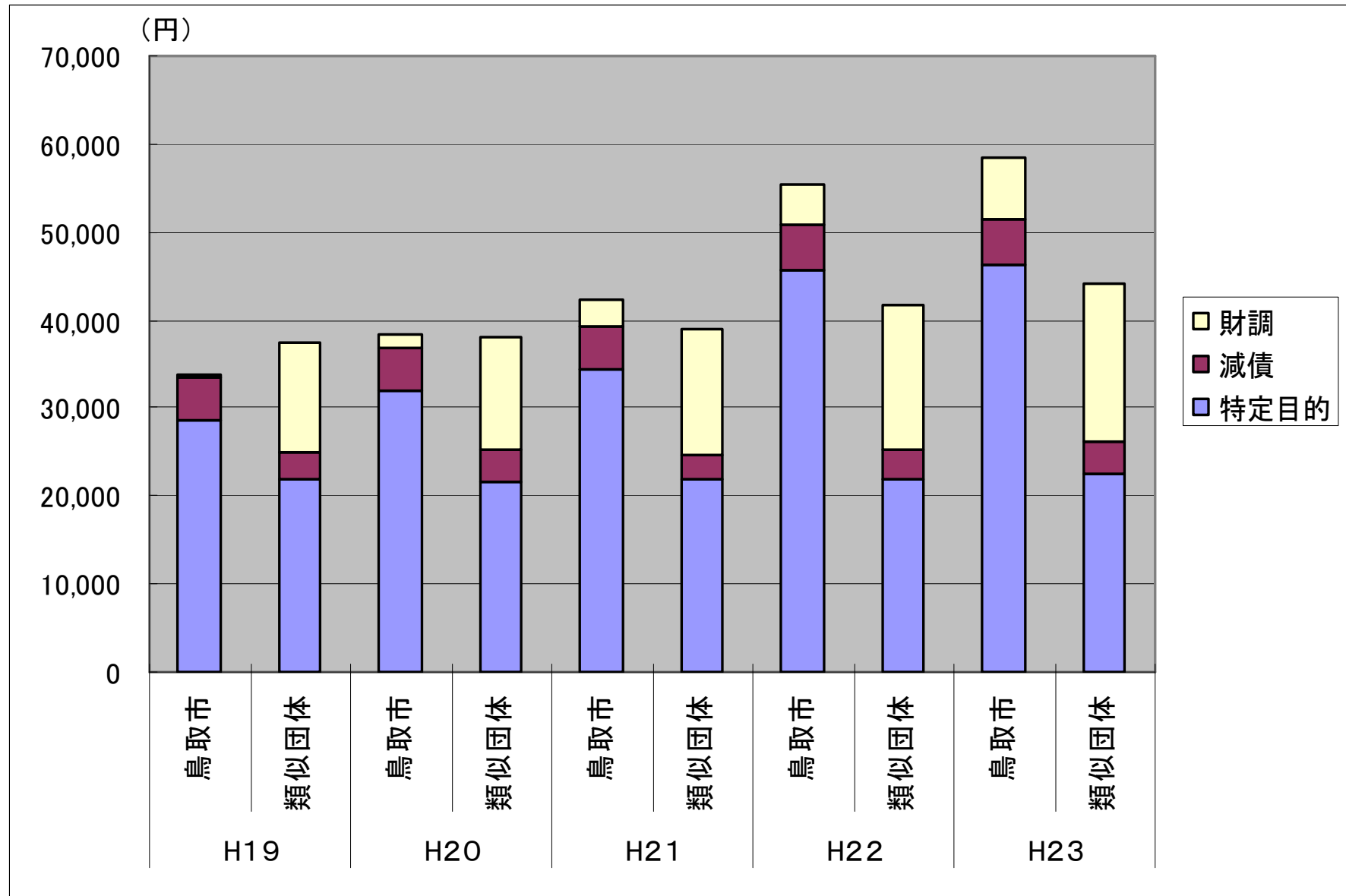
* H13～H15は合併前の9市町村の合計

他都市との比較（人口一人あたり）

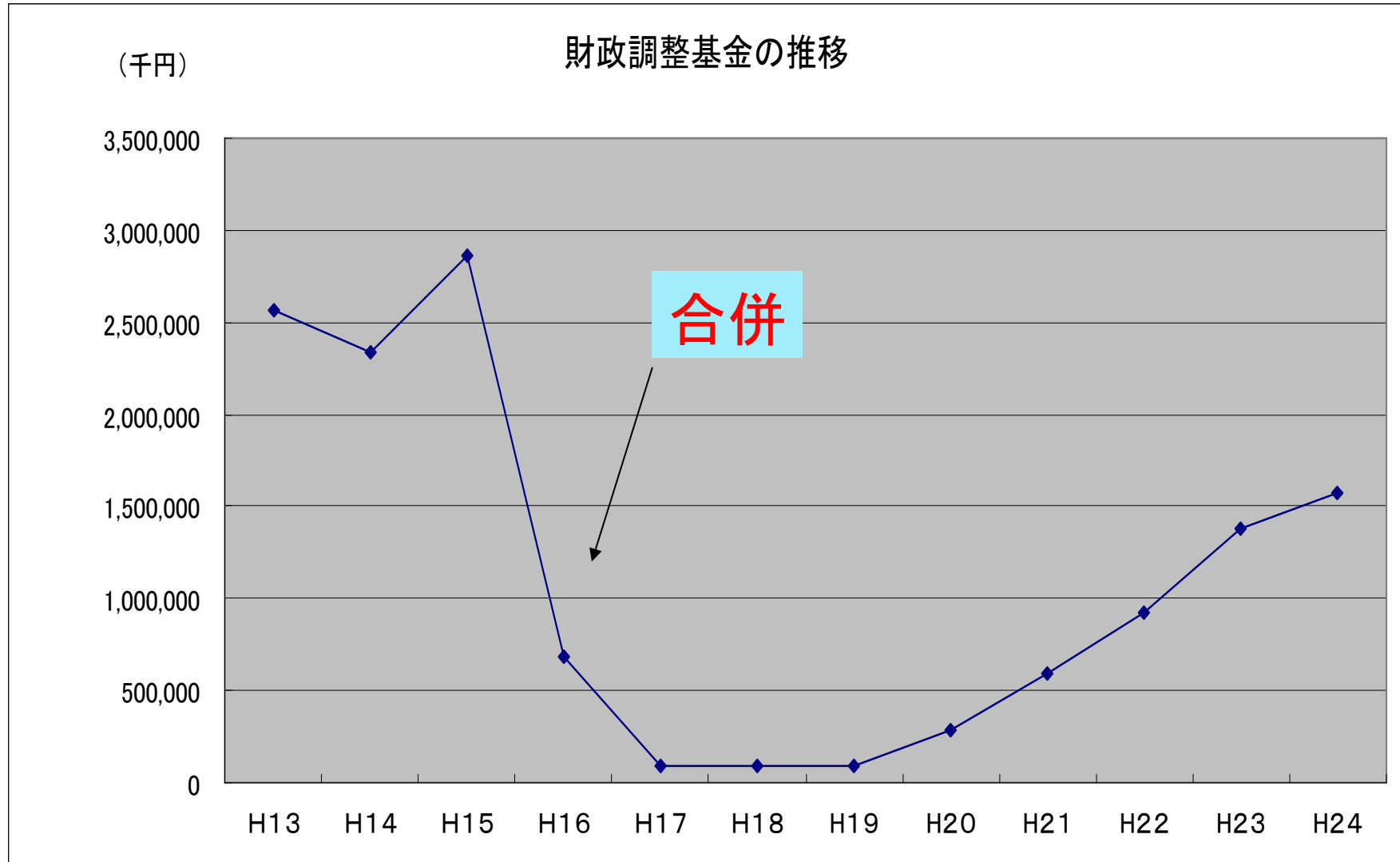
（円）

		財調	減債	特定目的	合計
H19	鳥取市	447	4,887	28,486	33,820
	類似団体	12,583	2,940	22,046	37,569
H20	鳥取市	1,437	4,937	31,836	38,210
	類似団体	12,812	3,738	21,555	38,105
H21	鳥取市	3,040	4,975	34,241	42,256
	類似団体	14,248	2,869	21,864	38,981
H22	鳥取市	4,755	4,999	45,733	55,487
	類似団体	16,329	3,434	21,935	41,698
H23	鳥取市	7,086	5,030	46,412	58,528
	類似団体	17,970	3,741	22,523	44,234

類似団体比較グラフ(人口一人あたり)



財政調整基金の推移



財政健全化判断比率

- 1、夕張市の財政破たんを期に設けられた
- 2、破たんする前に、財政を健全化に向けるようにした
- 3、指標は
 - ①実質赤字比率 ②連結実質赤字比率
 - ③実質公債費比率(借金の割合)
 - ④将来負担比率(将来にわたり、全部の負担の割合)
 - ⑤病院、水道の赤字の割合

実質公債費比率

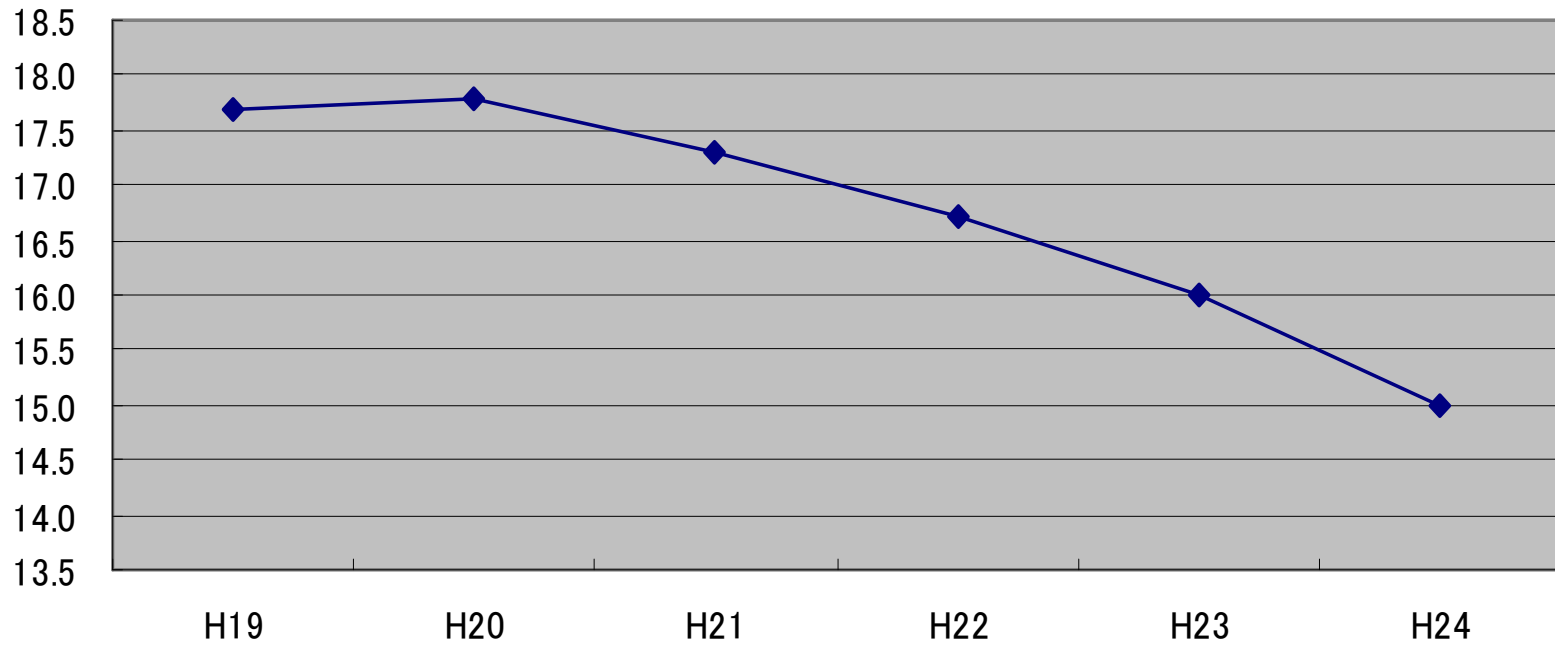
実質公債費比率とは、**財政の規模に対する借金の割合**

一般会計＋特別会計＋公営企業会計＋
一部事務組合（ゴミ、消防）＋広域連合
（後期高齢者医療連合）を**連結する**

18%を超えると新たな借金に県の許可が必要
25%を超えると早期健全化団体
35%を超えると財政再生団体 となる

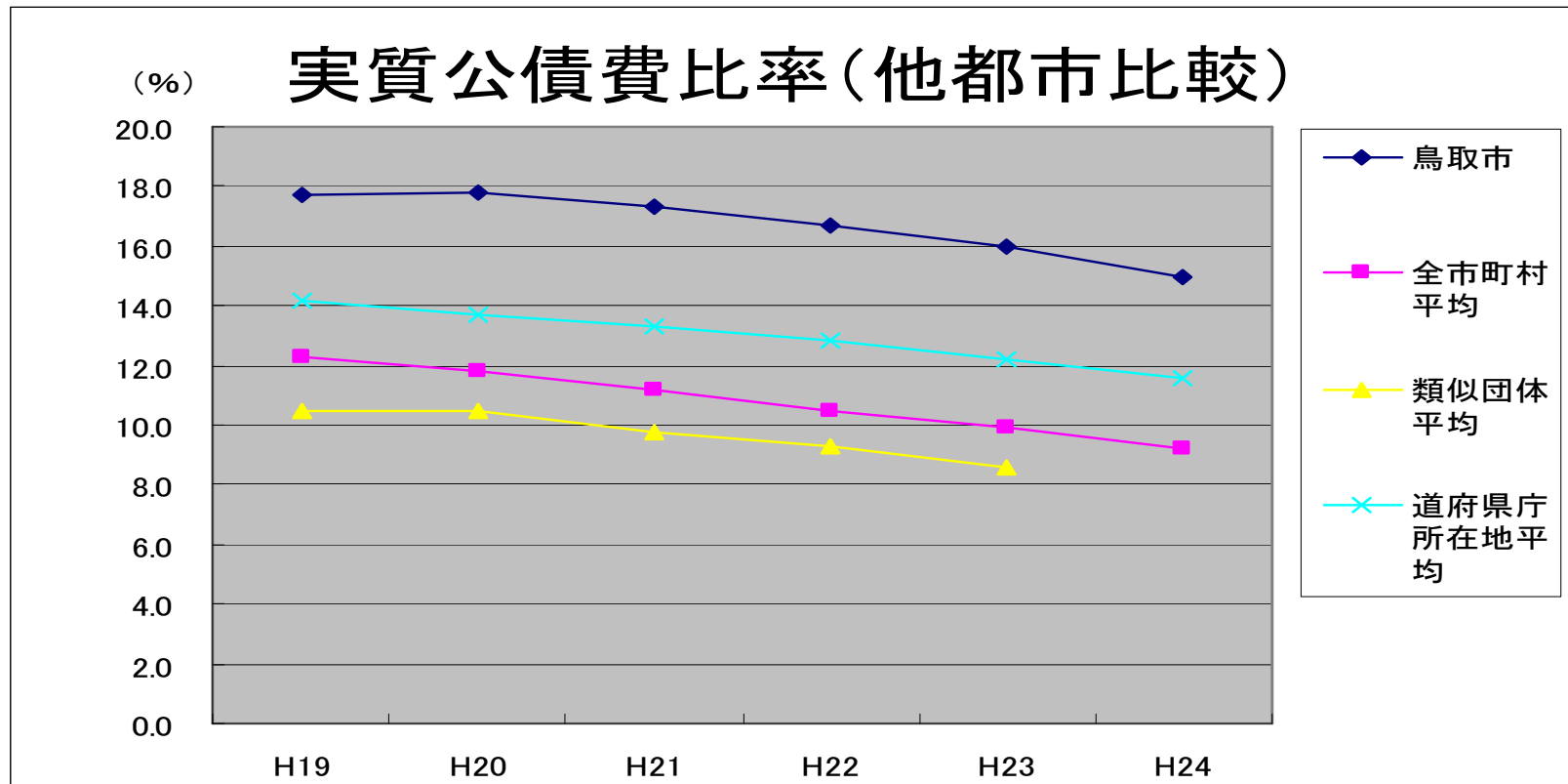
実質公債費比率の推移

(%)



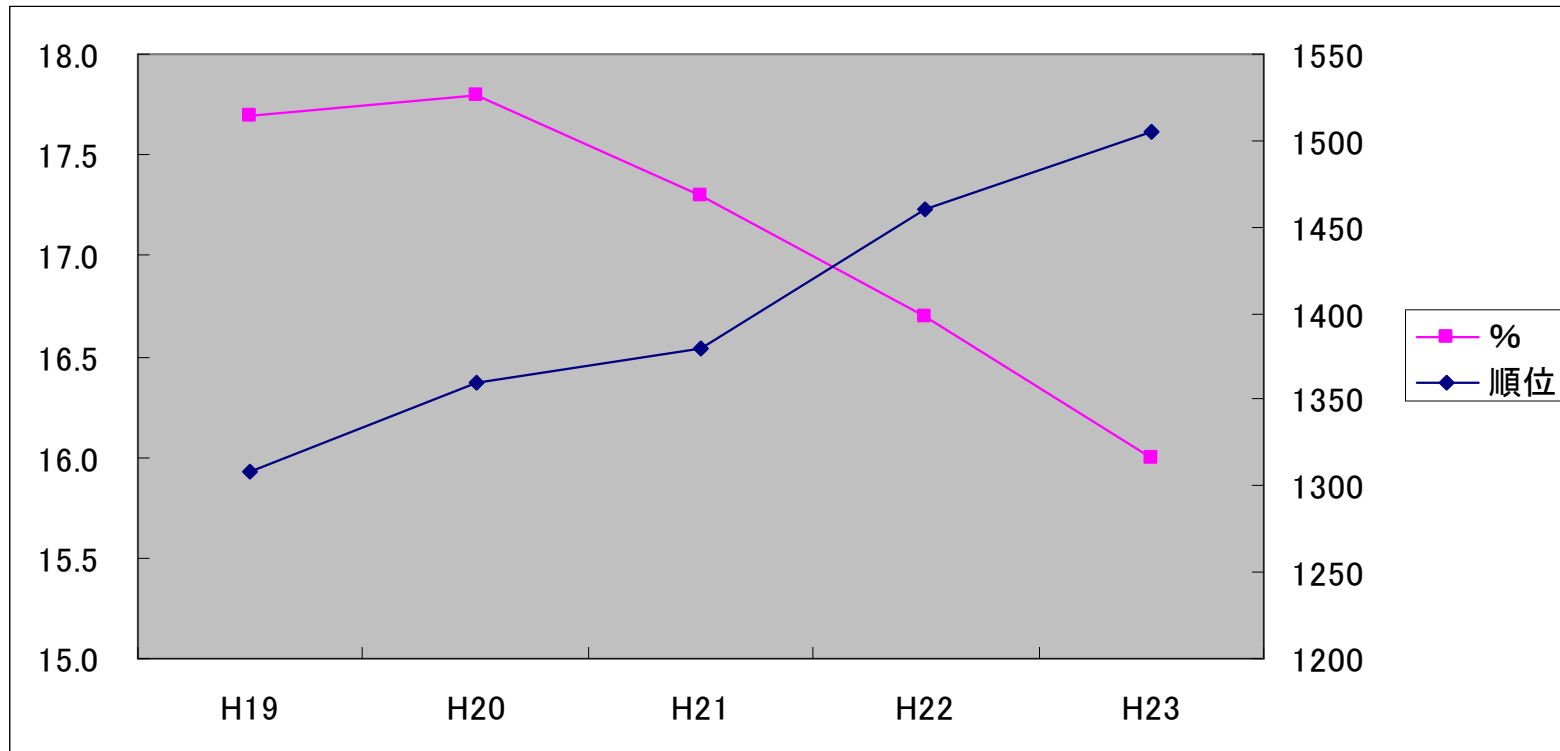
	H19	H20	H21	H22	H23	H24
実質公債費 比率 (%)	17.7	17.8	17.3	16.7	16.0	15.0

実質公債費比率(他都市比較)



実質公債費比率	H19	H20	H21	H22	H23	H24
鳥取市	17.7	17.8	17.3	16.7	16.0	15.0
全市町村平均	12.3	11.8	11.2	10.5	9.9	9.2
類似団体平均	10.5	10.5	9.8	9.3	8.6	
道府県庁所在地平均	14.2	13.7	13.3	12.8	12.2	11.6

実質公債費比率の全国ランキング



	H19	H20	H21	H22	H23
%	17.7	17.8	17.3	16.7	16.0
順位	1308 位	1360 位	1379 位	1460位	1505 位 /1739

将来負担比率

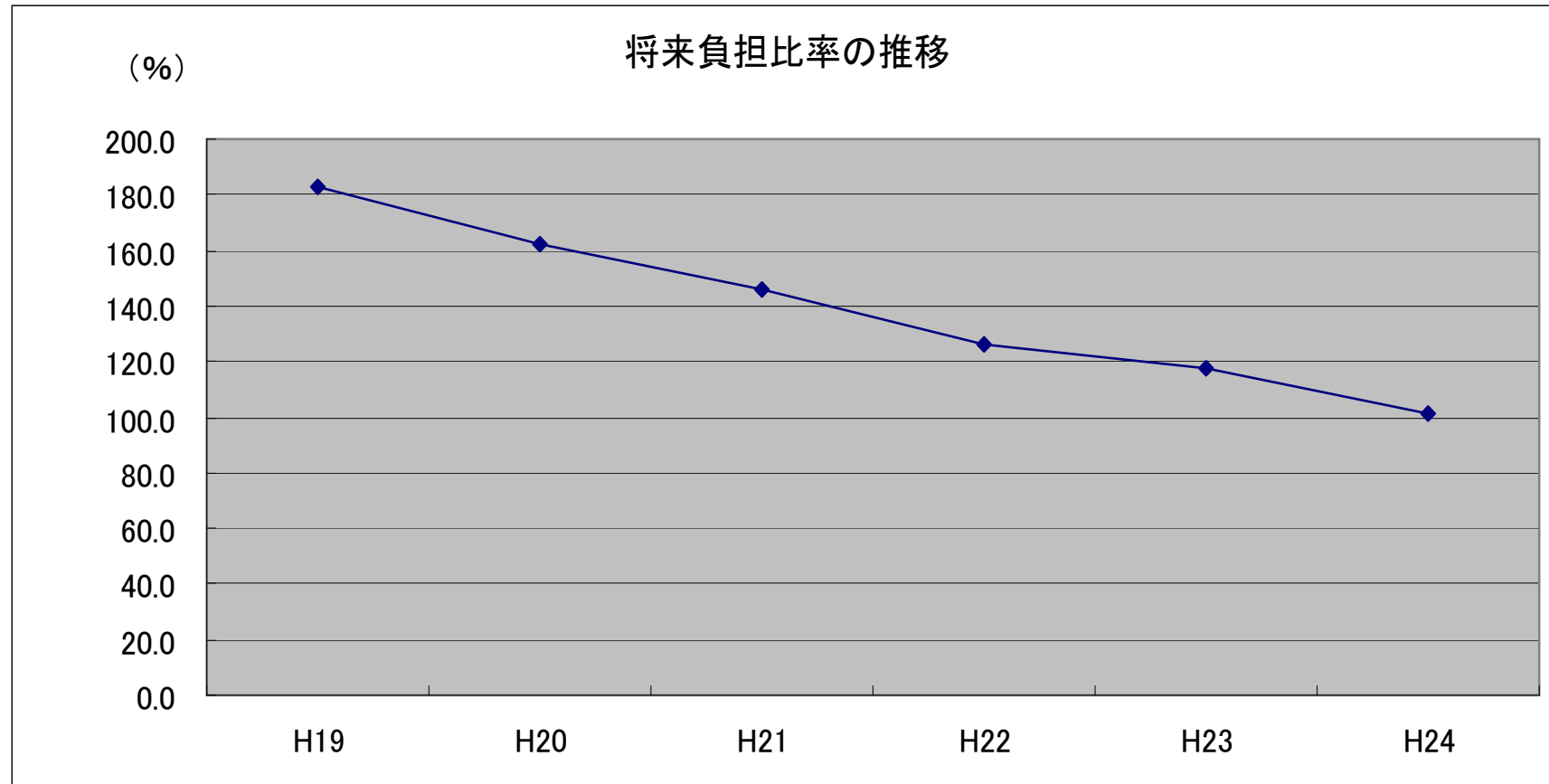
将来負担比率とは、一般会計等が、将来負担すべき債務が標準財政規模の何倍あるかを示したものの

将来負担すべき債務には、一般会計(地方債、債務負担行為)+特別会計+公営企業会計+一部事務組合・広域連合+地方公社・三セク等を連結する

負担すべき債務には職員退職金なども含める

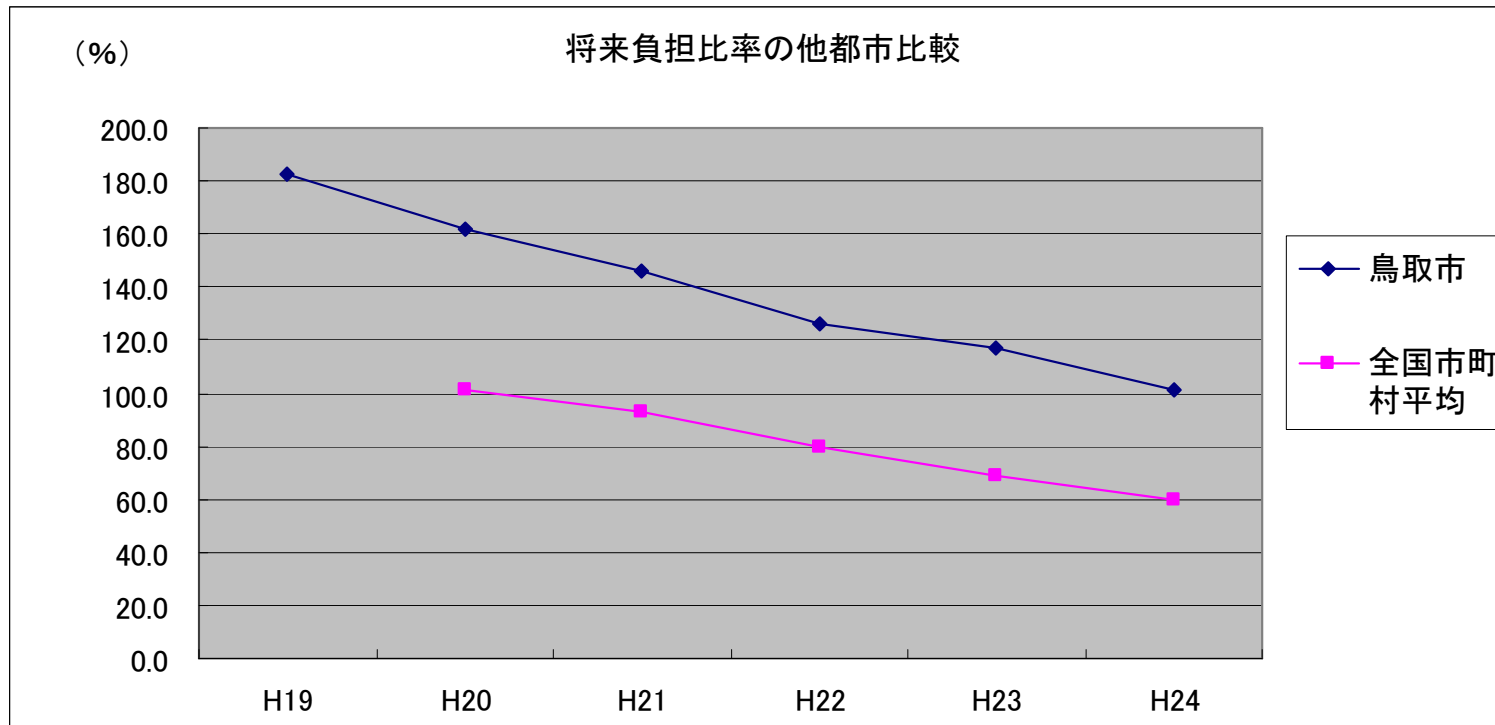
350%(市町村)が早期健全化基準となる

将来負担比率の推移



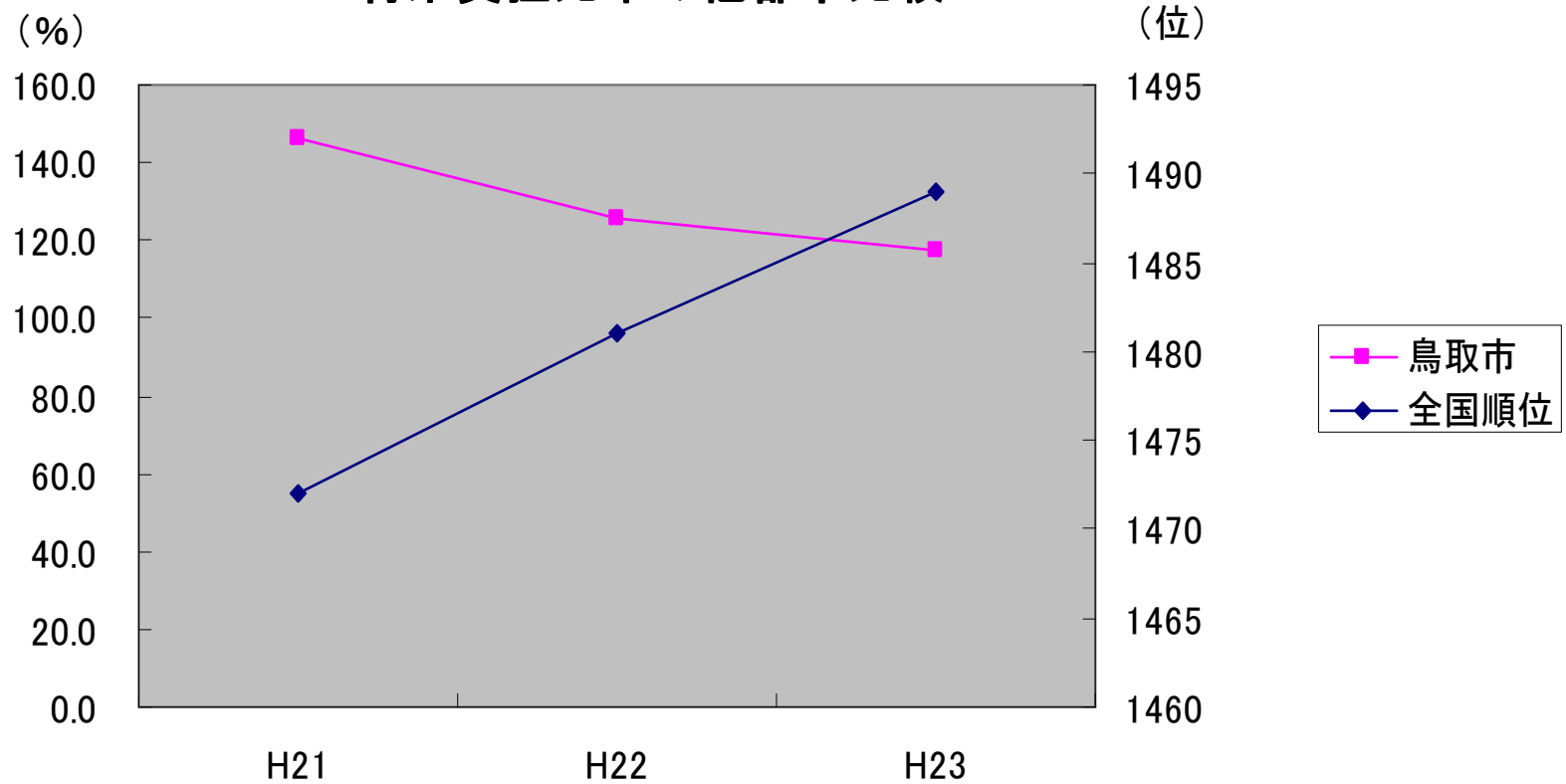
	H19	H20	H21	H22	H23	H24
将来負担比率	182.8	162.0	146.0	125.9	117.2	101.4

他都市との比較



将来負担比率	H19	H20	H21	H22	H23	H24
鳥取市	182.8	162.0	146.0	125.9	117.2	101.4
全国市町村平均		100.9	92.8	79.7	69.2	60.0

将来負担比率の他都市比較



	H21	H22	H23
鳥取市	146.0	125.9	117.2
全国順位	1472位	1481位	1489位
市区町村数	1740	1739	1739

今後、鳥取市は、さまざまな 大きな課題に直面します

それらは、**財政に大きなダメージを与え、**
市民サービスの低下を招き、
市民の負担が増えると予想されています。

今、それに備え、市の財政運営は、

- ① **質素・儉約の徹底**
- ② **ホントに必要な事業に絞り込む**

ことが、最重要となっているはずですが・・・

課題1、「財政の崖(ガケ)」が目の前に

「財政の崖」とは、今後「歳入が極端に減る」ことにより財政難になることです。

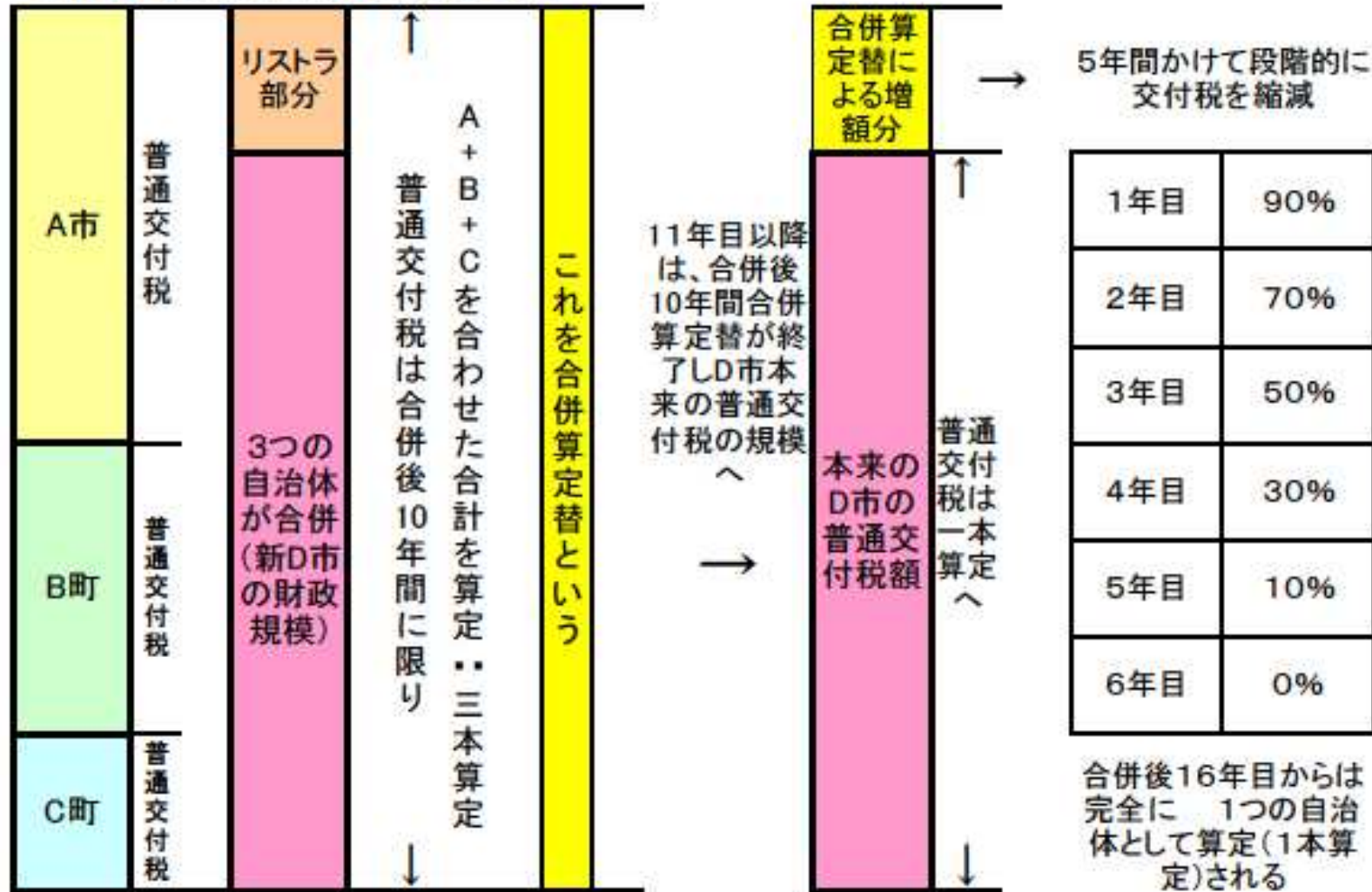
それは、「合併算定替の終了」に伴い、地方交付税(国からの仕送り)が激減するからです

その額は、約57億円。現在の交付税額の20%をはるかに超えます

合併した自治体の大問題としてクローズアップ

合併算定替の仕組み

* 市町村合併は、国のリストラ策です。



鳥取市の普通交付税はどうなるのか

平成24年度決算から推測すると

	基準財政需要額(A)	基準財政収入額(B)	交付基準額(A)-(B)	普通交付税交付額	臨財債発行可能額
一本算定	37,188,748	18,935,648	18,253,100	23,532,431	3,349,687
合併算定替	42,468,062	18,935,631	23,532,431		3,792,359
差	△ 5,279,314	(ア)	△ 5,279,331	(イ)	△ 442,672

(ア)+(イ)

▲57億2200万円

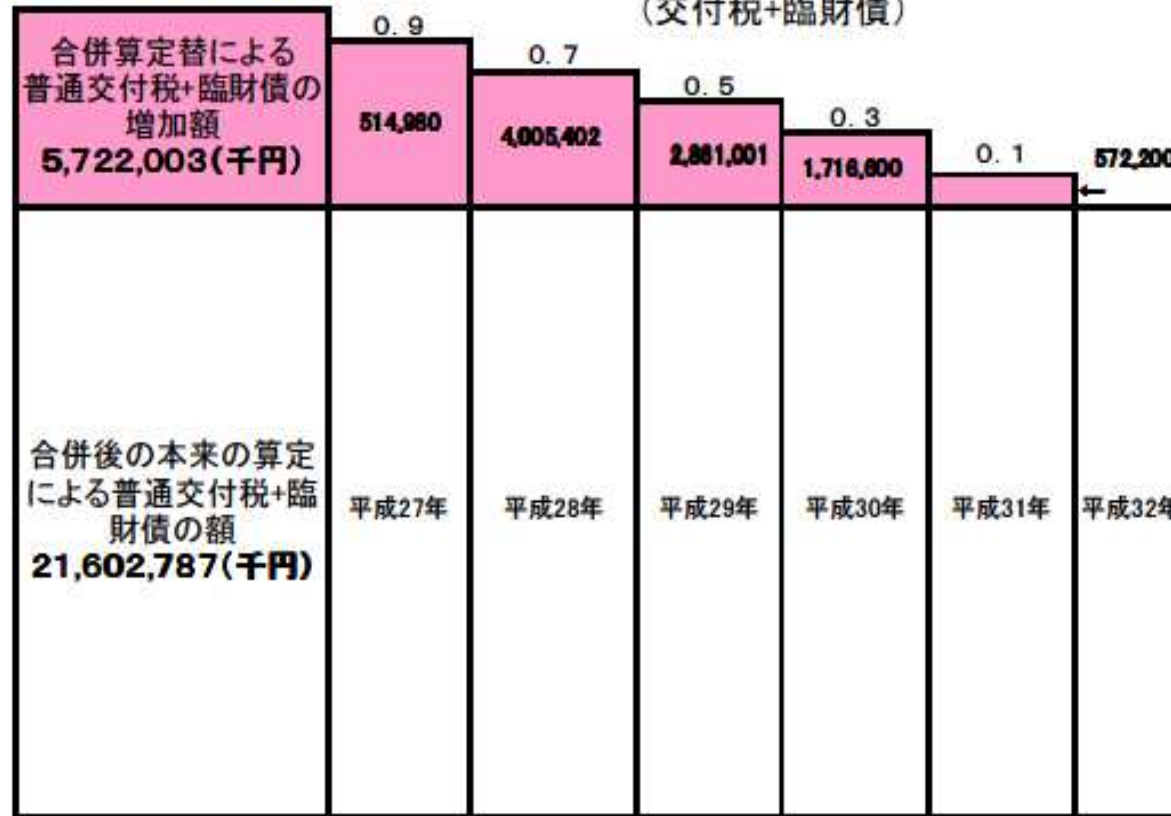
← 平成27年度より段階的に縮減される額

(交付税+臨財債)

平成32年以降、
なんと！24%も交付
税が削減される。



大幅な歳入減によ
り、鳥取市の財政
運営は危機的にな
り、市民
サービスが
著しく低下するのは
確実！！



課題2、少子高齢化・人口減少が 財政に及ぼす影響

1、収入減

(1) 税金の減少

税金を納める市民の数が減る

(2) 産業の低迷 → 税金の減少

①物が売れない

②働き手がなく物が作れない

2、支出増

- (1) 高齢者の増により医療費・福祉関連
の経費が増える
- (2) まちや村が寂れ、買い物難民や交通弱者
対策、耕作放棄地や山の荒廃対策の経費
が増える

3、非効率

人口が少なくなっても、道路、橋、上下水道などの生活インフラにかかる費用は減らせない

課題3、インフラ、公共施設の高齢化

鳥取市には、1650kmの市道があります

市道には1360本の橋や、本格的なトンネルが8つあります

これらの、修繕・更新費用は見積中ですが、膨大な数字になりそうです（毎年数十億円？）

一方、公共建物は**1246棟**あります

市民1人あたり	全国平均	3.42m ²
	鳥取市	4.72m ²

そのうちの**主要な700施設の修繕・更新費用**
は毎年83億円と試算されています

道路・橋・公共施設を合わせれば、毎年
百数十億円必要になってきます

しかし、25年度予算の維持補修費は、たった
7億3000万円(前年比△6000万円)

鳥取市の24年度の歳入(経常一般財源)

市民税230億円 普通交付税270億円

市民税の減少傾向が止まらない

普通交付税も合併算定替終了で激減

鳥取市の財政にとって、道路、橋、公共施設
などの社会資本の更新は……

「困難」ではなく「不可能」です

どうする、鳥取市！！

庁舎問題どころの話ではない

そもそも、他市に比べ、
財政状況が決して良くない鳥取市

おまけに、先行き大きな難題が山積み！！

市庁舎新築移転は、身の丈以上！！

です